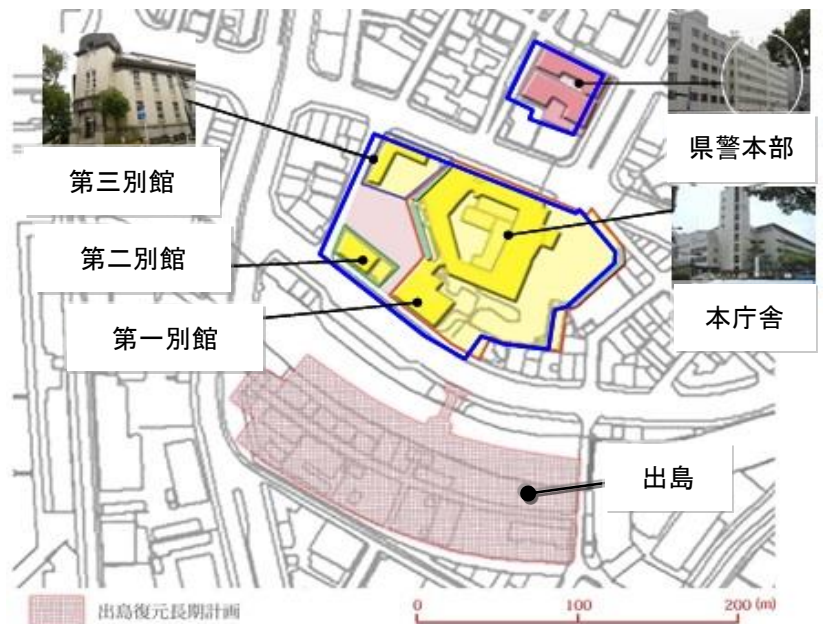
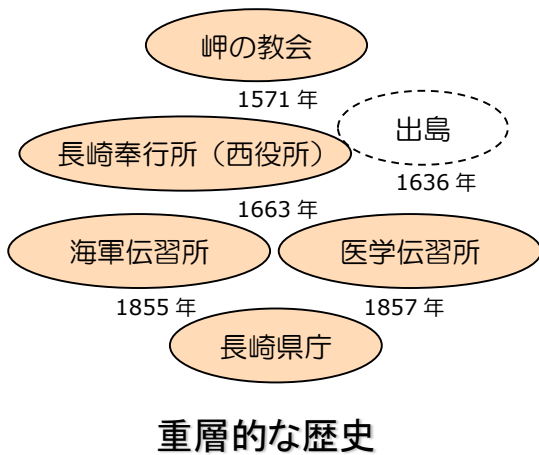


■ 県庁舎跡地の整備に向けた検討状況について（平成29年3月）
～長崎奉行所（西役所）の地を現代に生かす～

県庁舎跡地の背景

- 岬の教会、長崎奉行所西役所、四代に渡る県庁舎
- 長崎駅、港、中心市街地をつなぐエリアの中心



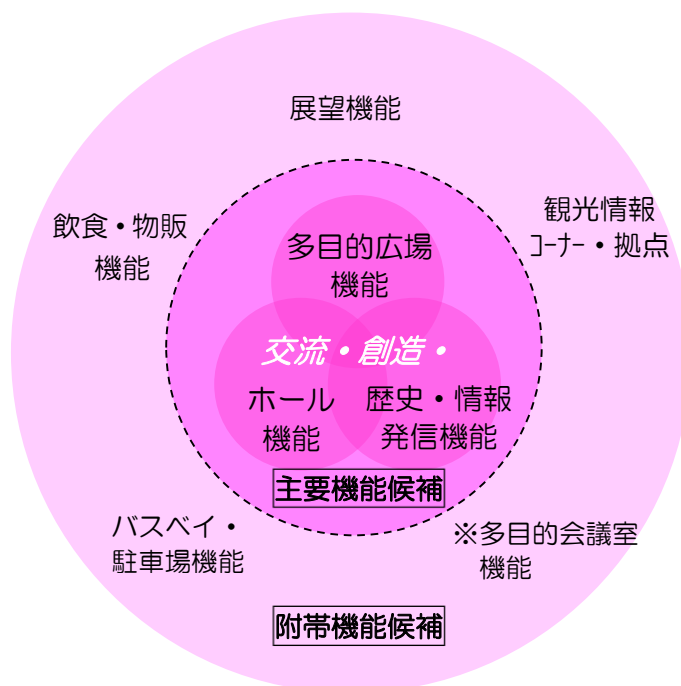
出島に隣接する現庁舎

目標スケジュール

- 長崎県総合計画チャレンジ2020の期間中（平成32年度中）の工事着手を目指す

検討の経過

【県庁舎跡地活用検討懇話会 提言から（平成 26 年 4 月）】



【平成 28 年 2 月定例会 知事説明】

こうした重層的な歴史やまちなかに立地する特性を踏まえ、活用にあたっての基本的な考え方として、「多様なイベント等により賑いを創出する**広場**」、「歴史・観光情報の発信も行う交流の場や県都長崎に相応しい迎賓機能を備えた**交流・おもてなしの空間**」、「歴史あるこの地に相応しい文化の中心となる質の高い**文化芸術ホール**」といった方向性を中心に検討してまいりたいと考えております。

【平成 29 年 2 月定例会 一般質問知事答弁】

県庁舎の跡地活用については、（中略）**広場と交流・おもてなしの空間を中心に、整備に向けて更に具体的な検討を進めることとし、ホールについては、適切な時期に今後の方向性を判断してまいりたい**と考えております。